

(様式第4号)

第1回 上田市子ども・子育て会議 会議概要

1 審議会名	上田市 子ども・子育て会議（書面会議）
2 日 時	意見聴取期間：令和4年5月12日(木)から令和4年6月3日(金)まで
3 出席委員 (意見提出者)	酒井会長、浅川委員、安藤委員、飯島委員、表委員、片桐委員、川合委員、金委員、 笹森委員、下村委員、高井委員、土屋委員、中澤委員、西澤委員、長谷川委員、 丸山委員、御堂島委員、宮下委員、山崎委員
4 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
5 会議概要作成年月日	令和4年6月22日(水)
協 議 事 項 等	
1 審議内容	<p>(1) 小規模保育所の新設について</p> <p>(2) 私立日向幼稚園の認定こども園移行予定の変更について</p> <p>別紙のとおり</p> <p>【事務局】 各委員からいただいた御意見等を踏まえた上で、この度お示しした内容に沿って、今後進めてまいりたいと考えております。</p>

別紙

令和4年度 第1回 上田市子ども・子育て会議（書面会議）

1 小規模保育所の新設について

(1) 意見・質問

【委員】①

3歳以降、小規模保育事業所を卒園後の受け皿となる連携施設はあるのですか？
そこへは優先的に入園できるのでしょうか？

【保育課回答】

小規模保育事業所の設置に当たっては、連携施設の設定が認可要件の一つとなっていることから、設置事業者には、認可申請までに、認可保育所または幼稚園、認定こども園との協定等により連携施設の同意を得ていただくことになっています。

また、連携施設は、満3歳以上の児童に対して必要な保育等が継続的に提供されるよう、保護者の希望に応じて、引き続き、受け入れることとなっており、保護者が希望すれば、優先的に入園できる仕組みとなっております。

【委員】②

三歳未満児の施設が出来ることだけを良とせず、不慮の死亡事故等が多いことから、十二分の行政指導をしていって欲しい。

【保育課回答】

市が認可する小規模保育事業所に対しては、年1回、事業所を訪問し、指導監査を行っていますが、今後も適切な保育が提供されるよう確認・指導してまいります。

【委員】③

安全面・安心面の確保と保育の質の向上という点から、下記2点についてお尋ねし
たく存じます。

○それぞれの小規模保育事業所の職員数と時間帯による職員配置（有資格者の配置）
はどのような予定でしょうか。

○事業類型が「小規模保育事業B型」の2施設では、保育士（有資格者）を3/4以上
としており、国の基準よりも保育士の割合を高く設定しているのは良いと思います。
保育士以外の1/4の職員については、①どのような人を、②どのような方法で確保す
るのかについて、考えがあるようでしたらお聞きしたいです。例えば、①については、
子育て支援員研修等を受講し修了証を持っている人、幼稚園免許を持っている人、な
ど。

【保育課回答】

小規模保育事業所A型、B型ともに時間帯における園児数、年齢に応じた職員配置が必要とされています。したがって、職員数については定員区分に応じた職員配置を満たした上で、時間帯における園児数、年齢に応じた職員配置を満たしていただくこととなります。

また、小規模保育事業所B型の保育士以外の1/4の職員については、子育て支援員研修を修了した者を置くこととしています。職員の確保方法は、事業者に委ねておりますが、市では長野県が開催する子育て支援員研修を周知し、事業者に対し修了証の写しの提出を求めています。

【委員】④

既存の保育施設と意図しない競合にならないように願います。また、保育士等の保育従事者の労働条件向上に努めていただきたいと思います。

【保育課回答】

既存施設との競合に関する御意見については、上田市の公立保育園では、1歳児の保育士配置について、国基準の児童6人：保育士1人の配置に対し、市独自基準の児童3人：保育士1人の配置としていましたが、3歳未満児の保育需要増加に伴い、令和元年度から緊急避難的に児童4人：保育士1人の配置としています。今回、小規模保育事業所の設置を予定している地域は、3歳未満児の受け皿が不足している地域ですが、今後、保育の受け皿が充足した場合、公立保育園の1歳児の保育士配置を当初の児童3人：保育士1人に戻す等の対応により、民間事業者の皆様の間で過当な競争が生じることがないように配慮してまいります。

また、保育従事者の労働条件向上に関する取組については、国事業により、令和4年2月から3%程度(月額9,000円程度)の賃金改善を実施する事業者に対して、当該処遇改善を行うために必要な経費を補助しております。

【委員】⑤

4月時点で待機児童ゼロ、潜在的待機児童2人との報道があり一段落ですが、第一希望以外の施設に通う、兄弟別々の施設に通う等、解消されていない保護者負担もあります。私立幼稚園の存続問題もあるため、幼稚園の認定こども園移行にも期待します。

【保育課回答】

小規模保育事業所の設置とともに、私立幼稚園の認定こども園への移行支援等にも取り組み、民間事業者の皆様と連携しながら、働きながら子育てできる環境の整備に取り組んでまいります。

【委員】⑥

小規模事業所の新設過剰は少子化の中

- ・既存との競合
- ・監督の不十分

を起こすのではないかと不安です。

【保育課回答】

既存施設との競合に関する御意見については、【委員】④への回答のとおり、今後、3歳未満児の保育の受け皿が充足した場合は、公立保育園の1歳児の保育士配置を緊急避難的に実施している現在の児童4人：保育士1人の配置から、当初の児童3人：保育士1人の配置に戻す等の対応により、民間事業所の皆様の間で過当な競争が生じないように配慮してまいります。

また、事業者への監督に関する御意見については、【委員】②への回答のとおり、市が認可する小規模保育事業所に対しては、年1回、事業所を訪問し、指導監査を行っていますが、今後も適切な保育が提供されるよう確認・指導してまいります。

【委員】⑦

背景にある、待機児童解消という観点、そして少ない受け入れ人数と限定的な年齢から家庭に近い環境設定の中で、一人ひとりの発達や個性に寄り添った丁寧な保育を行えるという点からも、未満児のみの小規模保育園が充実していくのは大変望ましいことであると思いますが、一度に3園…というのには少々驚きました。

日向幼稚園が認定こども園となり、3号認定の受け入れ幅が広がる事、上田女子短大付属幼稚園も認定こども園にするための計画が進んでいることを漏れ聴いておりますのでそこでも未満児の受け入れ枠は今後更に広がることが見通されます。

保護者や子どもさんにとって保活の選択肢が広がるのは良いことだと思う反面、今後少子化が進む中、都会程待機児童が多いわけではないこの上田市に受け皿としての施設ばかりが増え、待機児童が無くなればそれで良いということではないことは行政側の皆さんも重々承知の上での認可申請受諾ではあるかと思いますが……。

小規模保育園の全国的なアンケート調査でも課題になっているのは連携施設の問題があります。当園も幼稚園を連携施設にしてありますが、6年間の実績の中で感ずるのは、いくら連携施設があっても、保護者の方のご希望は仕事をもっていらっしゃる事から、通勤に便利であったり、延長保育が充実していたり、登園可能日数が多い所等の条件で選ばれる傾向が多く、なかなか連携施設へのスムーズな移行につながっていないのが実情です。特に転園希望の多い私立の認定こども園へは入りにくく、やむを得ず第二、第三希望の園に行っていただくことが特にここ2～3年は多くなりました。そうした点からも、小規模保育園が増えることで新たな問題が生じることが予測されますので、小規模保育園卒園後のフォローを行政側にも責任もってしてい

っていただけるような体制づくりを切にお願いしたいところです。

加えて、上田市全体での保育士不足が問題となっている中でそこに拍車をかけるような事につながらないのか？といった事に関して当局はどのように考えておられるのかお聞きしたかったです。

また、現在上田市の小規模保育園は、(任意団ではありますが)長野県保育連盟に加入しておりません。福祉課が担当課であることもあり、公私立保育園のように指導主事の指導も入りませんので、保育や保育の質を上げていくのは園独自の企業努力(?)に委ねられてしまうようなところがあります。そんな中、当園を開設してからこの6年の間でさえも、子ども達の発達等に以前には見られなかったような(発達障害とはまた別の)様々な変容が見取れるようになり、母親の子育て力の低下にもかなり大きな課題がでてきています。これまでの保育士としてやってきたキャリアだけでは到底解決できないような、一言ではとても言い尽くせない様々な問題にしっかり向かい合っていくためには、単に資格のある保育士が基準人数いれば良い…ということでは済まされなくなってきたことを痛感する昨今です。そんな現況に合った保育の提供をしていくには、かなり本気で…かなり真剣に…保育士自身の質を高めるための自己研鑽が必要となり、それを指導していく力もまた必要となります。

特に0・1・2歳の子どもの心と身体の発達は目まぐるしく変化していきますし、一人ひとりが成長していくスピードや自分で獲得できる能力も一人ひとりみな違います。ですので、未満児保育に関わる保育士は、そうした子どもの発達を正しく理解し、愛情豊かに関わられる乳児に特化した知識や技量をもった質の高い保育士でなければなりません。また、人間形成の一番の土台となる親との愛着関係をしっかりと結ぶ必要がある、とても大切な時期にいるお子さんを保育園でお預かりすることが、一歩間違えると親の子育て力を奪ってしまうことにもなりかねないのだということをも心の片隅に置いた上で、様々なタイプの親御さんと向き合い、寄り添いながら親が親として育っていけるようなお手伝いをしていく丁寧な保護者支援力も要求されます。

初めて親になり、回りに相談する人もなく、不安の中で自分なりに一生懸命頑張っているお父さん、お母さん達が我が子を愛おしいと感じ、愛情を降り注ぎ、迷いつつも一步一步自分の子育てに自信をつけていけるような応援は人数が少ない小規模保育園だからこそ丁寧に出るところがあるように思っています。お子さんの保育だけでなく、親になりたての、まだ未熟な保護者への支援というところも小規模保育園が担う大きな役割であるということを行政の皆様方にも改めてご理解頂き、単に器を増やすだけではなく、そういう機能を果たしているか否かについて時折保育内容や質等についても専門的な視点で関心を持ち、各施設に必要なアドバイスやサポートを的確にして頂き、上田市の本当の意味での保育の質の向上や子育て支援につながるようご協力をお願いしたいものだと思います。

子ども・子育て会議でも小規模保育園に関して特化した議題が上がることはそうそ

うないと思い、良い機会でしたので、日頃の思いのたけを好き勝手に書かせていただいていたしまいました。失礼な発言がありましたらどうぞお許してください。

【保育課回答】

連携施設に関する御意見については、小規模保育事業所に通園していた児童が満3歳になると、連携施設にて受入れていただくこととなりますが、利用時間が合わない等の理由により、連携施設ではない保育園等への通園を希望される場合がございます。その場合も市では受け入れ先の確保を図っておりますが、人気の高い園を希望される場合は、他の希望者と同様、調整の結果により、第二希望以降の園に通園していただく場合がございますので、御理解ください。

保育士不足に関する御意見については、今回の設置事業者は、独自のネットワーク等により、潜在的な保育人材の掘り起こしを図り、保育士確保の目処が立っていることを確認しておりますが、今後、地域内の限られた人材を奪い合うような状況が生じないよう配慮してまいりたいと考えております。

また、保育の質の確保に関する御意見については、市では、年1回、小規模保育事業所を訪問し、主に適切な事業所運営について確認・指導を行っておりますが、保育や保護者対応等に関する御相談についても指導主事等と連携しながら、対応してまいりたいと考えております。

今後も、子ども・子育て会議等の機会を通じて、小規模保育事業所の運営事業者の立場から御意見等をお寄せくださいますようお願いいたします。

(2) その他意見

待機児童解消を図るため、必要な取組みと考えます。

小規模保育所が増えることで、働きながら子育てを希望している家庭への支援の充実につながる。長時間保育にも対応しながらも、親子でのふれあいの時間がもてるよう、時短勤務や定時退社等がしやすい職場や企業が増えていくことを願う。

上田市の現状ではありませんが、他市で子育てをしている母親から、3人目、4人目とがんばって産み育てているが、3才以下の幼児を預ってもらえないという悩みをお聞きます。社会に出て働いているお母さんへの応援はもちろんですが、専業主婦や育休中でも安心して生まれたばかりの赤ちゃんを育てていくために、上の子達を（特に3才以下）預ってもらえる小規模保育事業の新設は大切だと思います。

上田市はありがたいとつくづく思いました。

2 私立日向幼稚園の認定こども園移行予定の変更について

(1) 意見・質問

なし。

(2) その他意見

自然環境を生かし、友だちと関わり合いながら体を使って活動したり、自然との触れ合いを大切にされている日向さんののびのびとした保育には常日頃から大きな興味、関心を寄せ、色々な点で目指している子ども像に共感させて頂いております。

認定こども園になることで3号認定、2号認定、受け入れの枠が広がり待機児童の緩和にもつながる事と思いますので良かったと思います。

3 その他

(1) 上田子ども・子育て会議について感想等

ア 意見・質問

【委員】

新型コロナウイルスの感染拡大により、未就園児を持つ保護者が利用する施設、子育てひろばや支援センターのほぼ全てが休館となりました。未曾有の事態において、やむを得ないことだと思います。

しかし、日々子育てをしている保護者にとっては行き場を失い、不安や孤独を感じた方も少なくないと思います。あるお母さんが「小さな子どもにマジギレしているお母さんを、半日で3人見かけた。みんな、もうギリギリなんだよ」と話してくれました。決して人ごとではありません。自粛、育児、疲労、不安、孤立。

幼い子どもを抱え、先の見えない『こんな時だからこそ』心の支えになる場所、親子が笑顔になれる時間が必要なのではないのでしょうか？

行政として、様々な視点からの『子育て支援』の在り方を今一度考えていただけたらと希望します。

【子育て・子育て支援課回答】

新型コロナウイルス感染拡大等に伴い、子育て支援センターをはじめ市内公共施設については、一定期間利用制限を余儀なくせざるを得ない状況でありましたので、感染予防等の観点の反面、市民の皆様には大変御不自由をお掛けしたものと認識しております。

このような経過を踏まえながら、日々変化する環境に対応した支援策など、様々なニーズに対する取り組みについて、今後とも引き続き検討してまいりたいと思います。

【委員】

以前、委員会時に未満児のオムツ持ち帰りについて意見を申し上げたことがありました。新型コロナウイルスや感染症の問題で、保育現場もご苦労されているかと思いますが、オムツ持帰りは不衛生であり、保護者の負担となっています。感染症を防ぐ意味でも園での処分を検討してください。

長野県が持ち帰りワースト県として2位となってしまう部分も問題に感じています。持ち帰りゼロに向けた取り組みをお願いします。県内モデルケースとなればより良いですね。

【保育課回答】

オムツ持ち帰りについては、園でお預かりしている間の健康状態（便の回数や状態等）をお伝えすることで、保護者によるお子さんの体調管理に活かしていただくためにもお願いしています。

一方で、衛生面での問題やレジ袋の有料化もあって、全国的には園で処理する割合が増えている中、市でも保護者負担の軽減、子育て支援といった観点からも園での廃棄を進める必要性を認識しております。

園で処理するためには、一時保管する施設設備や廃棄方法、必要となる予算など様々な課題がありますので、他自治体の事例も参考に検討してまいります。

【委員】

いつもご丁寧なご連絡や資料送付ありがとうございます。

昨年度最後の会議が中止でしたので、今頃になってしまいましたが、私、6年の任期が11月31日で終了となり、次の方も見つかりましたのでご報告いたします。

12月1日以降の会議は民生児童委員ではなくなってしまいますので、どのように引き継ぎを行えばよいか、また教えてください。

【子育て・子育て支援課回答】

引き継ぎにつきまして、別途お話しさせていただきますので、何卒よろしく願い申し上げます。

【委員】

年に数回しかないこの会議がコロナ禍で書面会議となってしまう大変残念に思います。今の上田市の子ども達やその保護者の皆さんが抱えている悩み、不安、課題、要望 etc。

そうした生の声を各分野で関わっている委員さん同士で意見交換し、行政サイドの皆様と一緒に一歩でも二歩でも、真のニーズに添った対応や対策を考え、前に進んでいかれる様な会議になるよう期待しています。

リモートでも良いので小グループ単位にしてでも、上田市の子ども・子育て環境の向上を目指し、共に情報交換や意見交換ができるような場を提供して頂ければ嬉しく思います。全体会では意見も出しにくいので、全体会と少人数のグループ単位での話し合いの組み合わせ等にして、せつかく集まった委員さん方お一人おひとりが、現在の上田市子育て・子育てについての現状と課題について自由に発言し、形式的な会議で終わらないような工夫ができれば、さらに意義ある会議になっていくかと思いますが、皆さんお忙しい方々ばかりですので難しいですかね？

【子育て・子育て支援課回答】

当会議につきまして、貴重な御意見いただき誠にありがとうございます。いただきました内容を踏まえ、今後の会議方法等につきまして検討してまいりたいと思いますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

イ その他意見

子育てしやすい環境づくりをしていただけていると書面に目を通し実感しました。コロナ禍の影響もあるのか“親が子供を虐待する”というニュースは本当に悲しく心が痛い話です。自分も子育てに余裕や支えがなければ…そう考えてしまうこともあるかも知れません。

近年では子育てする親の年齢も高齢となり、その親となれば介護という年齢に入ってきます。まさに私自身も子育て、親の介護の二重の大変さを実感しています。それに加え、お金の問題、仕事との両立と悩みもつきません。子供にとって今は一番大切にしてあげたい時期も自分に余裕がないと思うのが現状です。

今回このような人事を受け、子育て会議の内容を知ることができたのは、とてもいいきっかけになったと思います。多くの子育てに悩む親子さんが、これからも幸せに暮らせるまちづくりを応援しています。

上田市の子どもたちが幸せに暮らせるように、大人たちみんなで、子どもにとって良い環境と良い人材とは何かを考えあい、実行していきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

いつもありがとうございます。事務局の皆様のていねいな対応に感謝しています。今後も上田市の子育て支援充実のために、委員の皆様と議論を深めていけたらと思います。

上田市子ども・子育て支援事業計画に携わらせていただき、状況を聞き、意見を述べる事ができ、また聞くこともでき、ありがとうございました。

これからも、子育てがしやすい上田市であることに共感し、努めていきたいと思えます。

各分野からの委員が集まり審議する中で、子育て支援の全体が見え勉強になりました。自身の今後の活動に活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。